

訪問看護ステーション運営演習

6G 足立 菊池(香) 小林 堀江(乃) 宮本

①

訪問看護ステーション すくすく



②・③ 所在地:日立市(日立総合病院周辺)



なぜ日立市？

→日立市では年間600人以上の新生児が誕生している。しかし分娩可能な施設は市内で日立総合病院の一カ所しかない。そんな日立市でも、**疾患のある新生児や母親の精神面のケア**などを行き届かせるため。

④ スタッフの人数とその職種

看護師	3人
助産師	2人(管理者含む)
保健師	2人
理学療法士(PT)	1人
医療事務	2人

計10人



⑤サービス内容

- ・ 家庭を訪問し、乳児や母親のケアを行う
- ・ ターミナルケア可能 で、24時間体制
- ・ 月一くらいでヘルパーさんとの同行も行い、家事の負担を減らす
→市役所との連携
- ・ 保健師がいるため、産後うつの母親の相談、必要であれば心理士や精神科医に繋ぐことも可能
- ・ PTがいるため、呼吸器疾患や低体重児にも専門的に対応できる



⑥ 対象

- 1.疾患を持っている新生児とその母親
- 2.育児や出産について相談したい母親



〈理由〉 日立市には出産可能な病院はあるのに子育て支援をする施設が少なく、高齢者向けの施設が多い。

産後うつの問題への対応や、医療ケア児もできる限り親と共に自宅で生活できるよう、**子供を重点的に見る施設も必要**だと思ったため。

⑦運営の工夫

- 1.助産師、保健師がいるため**育児相談がしやすい**
- 2.市内唯一の分娩可能施設である「**日立総合病院**」と**連携**している
- 3.母親の精神的なケアのため、付近の精神科病院「**梅ヶ丘病院**」と**連携**している
- 4.市のサービスである無料で頼める**ヘルパー**と**協力**して母子を支援している



⑧ PR

「ママと赤ちゃんの、そばにいる
看護を。」



参考文献:問い合わせ【療育の専門家が解説】理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）の違いは？お子さまの成長をサポートする専門家、産前産後ママサポート事業 | 日立市公式ウェブサイト